

# 世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型)

## 運用報告書 (全体版) 第6期

(決算日 2023年10月25日)

(作成対象期間 2023年4月26日~2023年10月25日)

■信託期間終了日を2024年4月25日から2050年4月25日に変更しました。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2020年7月31日~2050年4月25日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ. アンカーMFGグローバル株式ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用)の受益証券 ロ. ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。 各計算期末における収益分配前の基準価額(1万円当たり)が10,000円超の場合、10,000円を超える額をめどに分配金額を決定します。なお、計算期末に向けて基準価額が大きく上昇した場合など基準価額の動向等によっては、実際の分配額がこれと異なる場合があります。	

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を除く世界の金融商品取引所上場株式等に投資し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00~17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			MSCIコクサイ指数 (税引後配当込み、 米ドルベース)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
2期末(2021年10月25日)	10,295	50	1.4	14,039	8.2	—	99.2	464
3期末(2022年4月25日)	9,132	0	△11.3	12,997	△7.4	—	99.1	369
4期末(2022年10月25日)	8,078	0	△11.5	11,353	△12.6	—	99.1	324
5期末(2023年4月25日)	8,787	0	8.8	12,935	13.9	—	99.0	311
6期末(2023年10月25日)	8,327	0	△5.2	12,927	△0.1	—	98.9	214

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCI Inc.（「MSCI」）の承諾を得て、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCIコクサイ指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドに基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>）

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

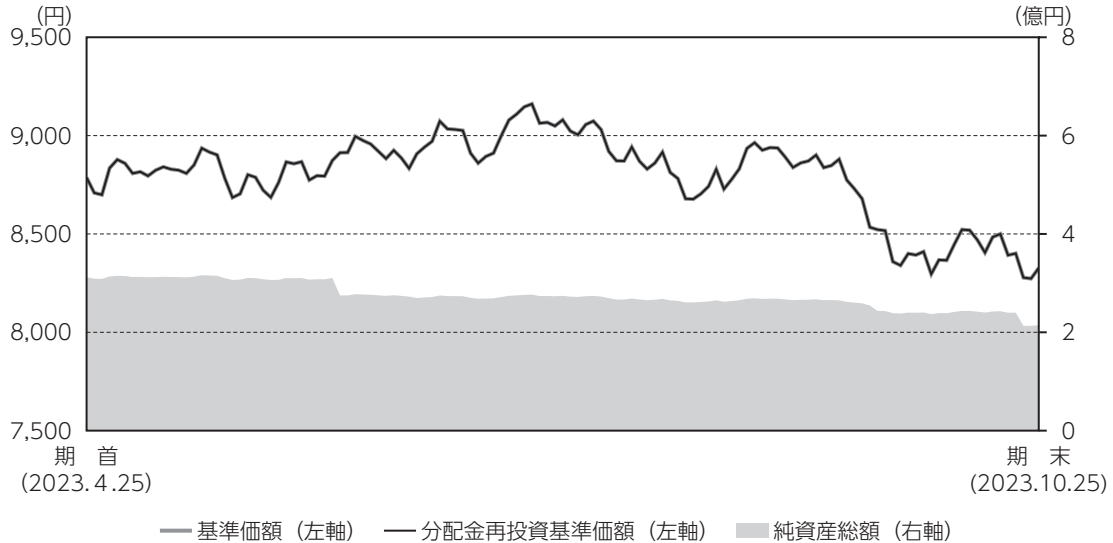
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- \* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- \* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### ■ 基準価額・騰落率

期首：8,787円

期末：8,327円（分配金0円）

騰落率：△5.2%（分配金込み）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

海外先進国株式市況が下落したことがマイナス要因となり、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年2回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		M S C I コ ク サ イ 指 数 (税引後配当込み、米ドルベース)		公 社 債 組 入 比	投 資 信 託 受 組 証 比	託 券 率
	騰 落 率	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2023年 4月25日	円 8,787	% -	12,935	% -	% -	% 99.0	
4 月末	8,835	0.5	12,884	△0.4	-	99.0	
5 月末	8,722	△0.7	12,945	0.1	-	99.0	
6 月末	8,971	2.1	13,464	4.1	-	99.0	
7 月末	9,056	3.1	14,058	8.7	-	99.4	
8 月末	8,964	2.0	13,785	6.6	-	99.2	
9 月末	8,400	△4.4	13,145	1.6	-	98.9	
(期末) 2023年10月25日	8,327	△5.2	12,927	△0.1	-	98.9	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2023.4.26～2023.10.25）

## ■海外先進国株式市況

海外先進国株式市況は下落しました（米ドルベース）。

海外先進国株式市況は、当作成期首より、米国の地方銀行の経営不安や債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方で、予想を上回る企業決算の発表が好感され、横ばい圏で推移しました。2023年5月下旬からは、AI（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感され、大幅に上昇しました。8月以降は、米国内債の増発やFRB（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。10月に入ると、つなぎ予算の成立によって政府機関の閉鎖が回避され、一時的に反発しましたが、景気の先行き不透明感や企業業績の伸びの鈍化、パレスチナ情勢の悪化、長期金利のさらなる上昇などが嫌気され、続落して当作成期末を迎えました。

## ■前作成期末における「今後の運用方針」

## ■当ファンド

「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

※MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）：アンカーMF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

## ■MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

なお、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。ただし、為替ヘッジの手段がない、あるいはヘッジコストが過大と判断される際には、一部の通貨について為替ヘッジを行わない方針です。

## ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023.4.26～2023.10.25)

## ■当ファンド

当ファンドは、「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」を投資対象ファンドとするファンド・オブ・ファンズです。当作成期の運用にあたっては、「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」の投資比率を高位に維持しました。

## ■MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。保有する銘柄の多くは、企業の生産性向上支援やキャッシュレス社会への移行など社会のデジタル化の進展、生活に必要な商品やサービスの提供における価格決定力、あるいは各国政府が推進する脱炭素化への取り組みなどを背景としたインフラ投資の拡大というメガトレンドからの恩恵を受けた収益拡大が期待できる企業群であると考えています。また、中央銀行の金融引き締め策による実体経済への影響が広がる中で、企業業績の下方修正リスクが高まる可能性を想定し、「収益の持続性」が期待される銘柄の組み入れを重視するポートフォリオ運営を行いました。

また、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

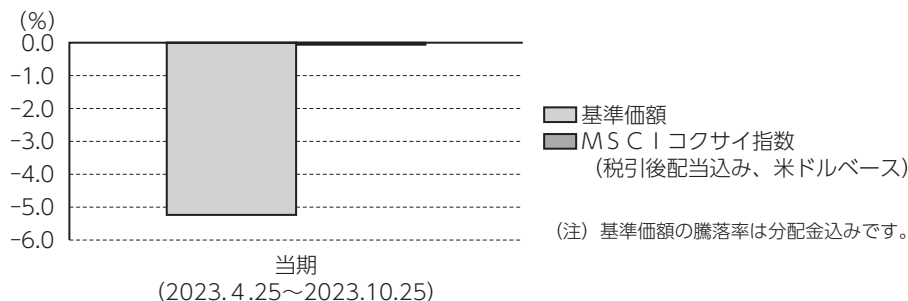
## ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数は海外先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案して、収益分配を見送らせていただきました。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2023年4月26日 ～2023年10月25日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	97

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」に投資します。通常の状態では、「MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■MF Gグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）

社会に変革をもたらすような中長期の投資テーマを発掘すると同時に、市場の大幅な下落につながる可能性のあるイベント・リスクを把握する「トップダウン分析」と、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる高クオリティ企業を厳選する「ボトムアップ分析」とを効果的に融合し、ポートフォリオを構築します。

なお、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。ただし、為替ヘッジの手段がない、あるいはヘッジコストが過大と判断される際には、一部の通貨について為替ヘッジを行わない方針です。

### ■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2023.4.26~2023.10.25)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	50円	0.564%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8,795円です。
（投 信 会 社）	(15)	(0.165)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(34)	(0.385)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(1)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	50	0.568	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

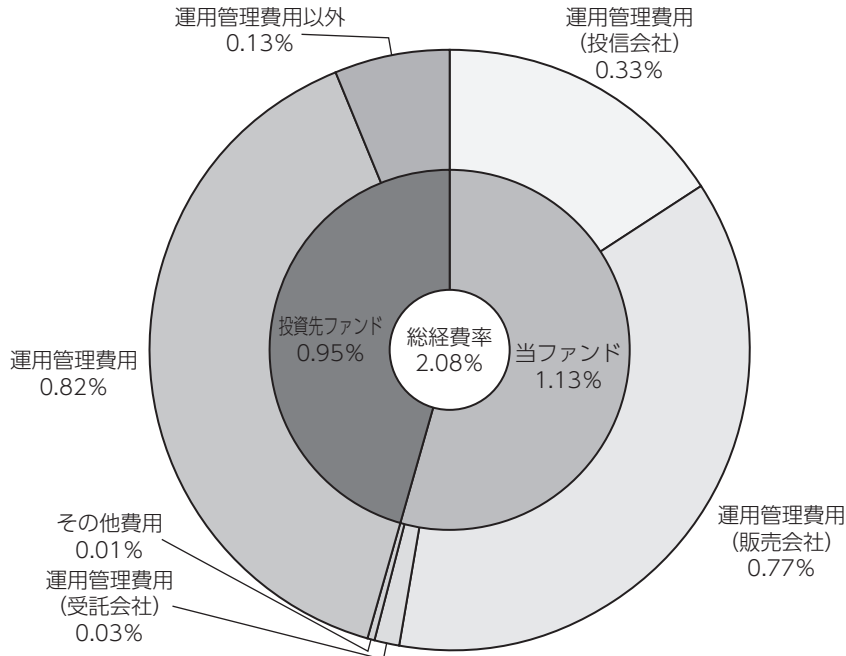
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直前の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.08%です。



総経費率 (①+②+③)	2.08%
①当ファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.82%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2023年4月26日から2023年10月25日まで）

		買付		売付	
		□ 数	金額	□ 数	金額
		千口	千円	千口	千円
国内	アンカーMFGグローバル株式ファンド （為替ヘッジあり） （適格機関投資家専用）	-	-	85,567.111	85,300

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	□ 数	評価額	比率
国内投資信託受益証券 アンカーMFGグローバル株式ファンド （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	千口 220,775.907	千円 212,033	% 98.9

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	□ 数	□ 数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0	0	0

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年10月25日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	212,033	88.5
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	27,637	11.5
投資信託財産総額	239,672	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年10月25日現在

項目	当期末
(A) 資産	239,672,136円
コール・ローン等	4,037,956
投資信託受益証券(評価額)	212,033,181
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	999
未収入金	23,600,000
(B) 負債	25,234,924
未払解約金	23,670,791
未払信託報酬	1,552,863
その他未払費用	11,270
(C) 純資産総額(A - B)	214,437,212
元本	257,528,656
次期繰越損益金	△ 43,091,444
(D) 受益権総口数	257,528,656口
1万口当り基準価額(C / D)	8,327円

\*期首における元本額は354,759,757円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は97,231,101円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は8,327円です。

\*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は43,091,444円です。

## ■損益の状況

当期 自2023年4月26日 至2023年10月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 639円
受取利息	137
支払利息	△ 776
(B) 有価証券売買損益	△10,276,732
売買益	2,004,302
売買損	△12,281,034
(C) 信託報酬等	△ 1,564,133
(D) 当期損益金(A + B + C)	△11,841,504
(E) 前期繰越損益金	△36,353,874
(F) 追加信託差損益金	5,103,934
(配当等相当額)	( 13,987)
(売買損益相当額)	( 5,089,947)
(G) 合計(D + E + F)	△43,091,444
次期繰越損益金(G)	△43,091,444
追加信託差損益金	5,103,934
(配当等相当額)	( 13,987)
(売買損益相当額)	( 5,089,947)
分配準備積立金	2,486,013
繰越損益金	△50,681,391

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

## ■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	13,987
(d) 分配準備積立金	2,486,013
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,500,000
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,500,000
(h) 受益権総口数	257,528,656口

## 《お知らせ》

## ■信託期間の延長について

信託期間終了日を2024年4月25日から2050年4月25日に変更しました。

**<補足情報>**

当ファンド（世界セレクトティブ株式オープン（為替ヘッジあり／年2回決算型））が投資対象としている「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の決算日（2022年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2023年10月25日）現在におけるダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

**■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの主要な売買銘柄**

2023年4月26日～2023年10月25日における主要な売買銘柄はありません。

**■組入資産明細表**

2023年10月25日現在、有価証券等の組み入れはありません。

# ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

## 運用報告書 第14期 (決算日 2022年12月9日)

(作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

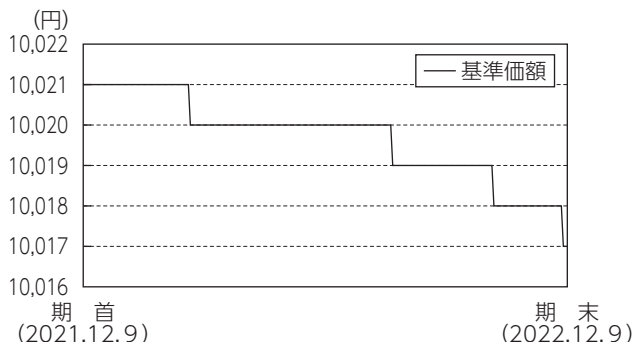
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2021年12月9日	円	%	%
12月9日	10,021	-	-
12月末	10,021	0.0	-
2022年1月1日	10,021	0.0	-
2月末	10,021	0.0	-
3月末	10,020	△0.0	-
4月末	10,020	△0.0	-
5月末	10,020	△0.0	-
6月末	10,020	△0.0	-
7月末	10,020	△0.0	-
8月末	10,019	△0.0	-
9月末	10,019	△0.0	-
10月末	10,018	△0.0	-
11月末	10,018	△0.0	-
(期末)2022年12月9日	10,017	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。  
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。  
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,021円 期末：10,017円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆ 投資環境について

○ 国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用	-
合 計	-

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■ 主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■ 組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■ 投資信託財産の構成

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	44,934,654	100.0
投資信託財産総額	44,934,654	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	44,934,654,863円
コール・ローン等	44,934,654,863
(B) 負債	1,205,058
未払解約金	1,205,058
(C) 純資産総額(A - B)	44,933,449,805
元本	44,855,160,815
次期繰越損益金	78,288,990
(D) 受益権総口数	44,855,160,815口
1万口当り基準価額(C/D)	10,017円

\* 期首における元本額は94,938,109,576円、当作成期間中における追加設定元本額は94,531,696,979円、同解約元本額は144,614,645,740円です。

\* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ダイワ米ドル・ブルファンド (適格機関投資家専用)	3,974,859,681円
ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用)	9,984,542,130円
ダイワ・マネーポートフォリオ (F O F s用) (適格機関投資家専用)	1,089,639円
ダイワJリートベア・ファンド (適格機関投資家専用)	2,083,616,103円
米国債プラス日本株式ファンド2021-01 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	1,518,511円
米国債プラス日本株式ファンド2021-07 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	9,980,330円
ダイワ/パリュウ・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス	9,976円
通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定率分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース)	9,963円
NYダウ・トリプル・レバレッジ	1,486,750,161円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型)	998円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型)	998円
FANG+ブルベア・マネーポートフォリオ	992,420円
ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型)	998円
ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配金提示型)	998円
トレント・キャッチ戦略ファンド	9,977円
AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用)	8,364,886,518円
ダイワJGBベア・ファンド2 (適格機関投資家専用)	18,942,942,107円
ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド	2,417,017円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券α (毎月分配型)	9,949円
ダイワ米ドル建て7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USトライングル	997,374円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型	173,802円

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,017円です。

■損益の状況

当期 自2021年12月10日 至2022年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 16,492,067円
支払利息	△ 16,492,067
(B) 当期損益金(A)	△ 16,492,067
(C) 前期繰越損益金	201,304,649
(D) 解約差損益金	△293,300,613
(E) 追加信託差損益金	186,777,021
(F) 合計(B + C + D + E)	78,288,990
次期繰越損益金(F)	78,288,990

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	アンカーMFGグローバル株式マザーファンドの受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。 実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを低減するために、為替ヘッジを行います。ただし、為替ヘッジの手段がない、あるいは、ヘッジコストが過大と判断される際には、一部の通貨について、為替ヘッジを行わない場合があります。
主要運用対象	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド(為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) アンカーMFGグローバル株式マザーファンド アンカーMFGグローバル株式マザーファンド受益証券 海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
マザーファンドの運用方法	1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通して年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	1. アンカーMFGグローバル株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券への投資割合には制限を設けません。 2. 株式等※への直接投資は、原則として行いません。 ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。以下同じ。 3. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしがたい当該比率以内となるよう調整を行います。 4. 新興国企業が発行する株式への実質投資割合は、原則として20%以内とします。 5. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する実質投資割合は、原則として30%以内とします。 6. 一銘柄あたりの実質投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の実質投資割合は、原則として40%以内とします。 7. 実質キャッシュ比率は、原則として20%以内とします。 8. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 9. デリバティブ取引は、原則として行いません。
	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしがたい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。
分配方針	収益分配金額は、分配対象額の範囲（経費控除後の配当等収益および先実益（評価益を含む）等の全額）内で委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。但し、必ず分配を行うものではありません。

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

# アンカーMFGグローバル 株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用)

## 運用報告書（全体版）

第3期（決算日 2023年4月3日）

### 受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」は、去る2023年4月3日に第3期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先  
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社  
業務部

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10  
アークビルズ仙石山森タワー

電話番号：03-5575-5780

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

ホームページ：www.northerntrust.jp/



《アンカーMFG グローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）》

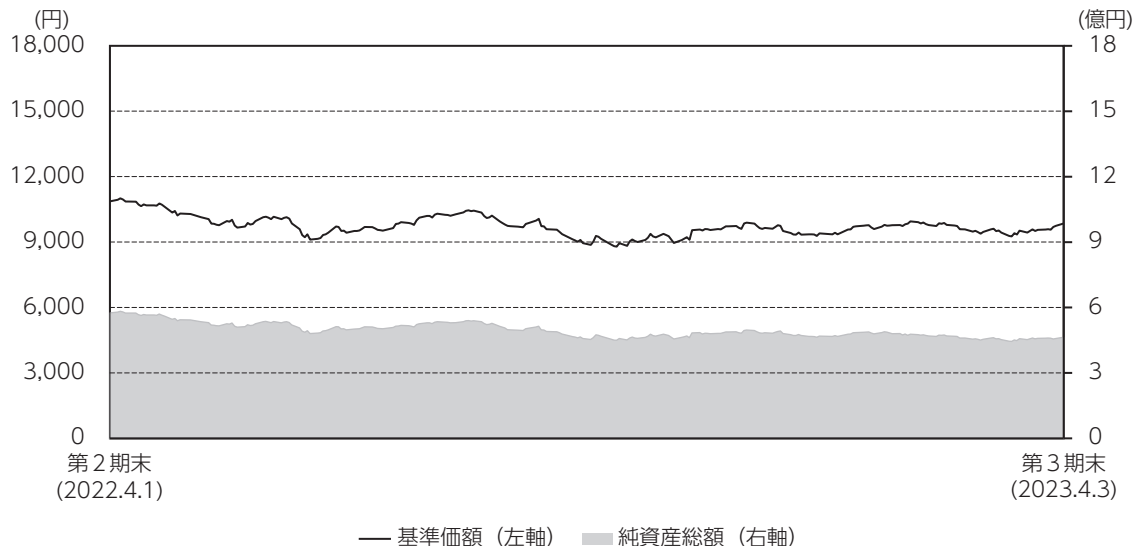
設定以来の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式 組入比率	投資証券 組入比率	純資産 総額	
	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率				
(設定日) (2020年8月3日)	円 10,000	円 -	% -	10,000	% -	% -	百万円 19	
1期 (2021年4月1日)	10,750	0	7.5	12,282	22.8	95.7	4.0	643
2期 (2022年4月1日)	10,866	0	1.1	13,688	3.3	93.1	3.7	574
3期 (2023年4月3日)	9,858	0	△ 9.3	12,711	△ 7.1	97.7	-	463

(注) 参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、米ドルベース、2020年8月3日を10,000とする。）を使用しています。

## 《運用経過》

### 基準価額等の推移について



#### ■基準価額・騰落率

期 首：10,866円

期 末：9,858円

騰落率：△9.3%

#### ■組入ファンドの当期間中の騰落率

組入ファンド	騰落率
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	3.6%

#### ■基準価額の主な変動要因

株式および為替ヘッジがともにマイナス寄与し、基準価額は下落しました。株式では、コミュニケーション・サービス、金融セクターでの保有銘柄の株価が下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

為替ヘッジでは、米ドル他すべてのヘッジ対象通貨に対して円安他通貨高となりました。

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 式 組入比率	投資証券 組入比率
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2022年4月1日	10,866	% -	13,688	% -	% 93.1	% 3.7
4月末	10,308	△ 5.1	12,617	△ 7.8	96.4	4.2
5月末	10,165	△ 6.5	12,655	△ 7.5	88.5	2.9
6月末	9,527	△12.3	11,589	△15.3	94.1	2.9
7月末	10,122	△ 6.8	12,211	△10.8	87.9	2.7
8月末	9,800	△ 9.8	11,939	△12.8	92.4	2.4
9月末	8,954	△17.6	10,855	△20.7	98.7	2.2
10月末	9,380	△13.7	11,632	△15.0	95.2	0.8
11月末	9,608	△11.6	12,058	△11.9	90.6	-
12月末	9,398	△13.5	11,837	△13.5	84.3	-
2023年1月末	9,738	△10.4	12,501	△ 8.7	85.6	-
2月末	9,514	△12.4	12,370	△ 9.6	99.7	-
3月末	9,742	△10.3	12,563	△ 8.2	97.8	-
(期 末) 2023年4月3日	9,858	△ 9.3	12,711	△ 7.1	97.7	-

(注) 騰落率は期首比。

## 投資環境について

## ○世界株式市況

当期の先進国株式市場は、期首と比べて下落しました。期初から2022年6月末にかけては、ロシア・ウクライナ戦争の停戦期待が後退したことや、良好な米雇用統計や市場予想を上回る米消費者物価指数を受けてFRB（米連邦準備制度理事会）による利上げの懸念が強まったことなどから下落基調で推移しました。その後一時利上げペース鈍化期待などから持ち直したものの、9月のFOMC（連邦公開市場委員会）で再度0.75%の大幅な利上げが継続されると、それに伴う景気悪化懸念が改めて意識され、当期の安値圏まで続落する展開となりました。期の後半からは、FRBによる利上げペースに対する見方や、それを受けた金利動向に大きく左右され一進一退となる中、良好な米経済指標などを受け投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから、上昇基調に転じました。年明け以降は、米地方銀行の経営破綻を発端とした米国金融システム不安の高まりなどから一時下落する場面も見られたものの、その後利上げ停止観測が浮上したことや、中国でのゼロコロナ政策が事実上解除されたことに伴う経済再開期待などを背景に、上昇基調を維持しました。

## ○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円安米ドル高となりました。期初から期中盤にかけては、FRBによる積極的な利上げ実施や米長期金利の大幅上昇などを背景に、日米の金利差拡大を見込んだ円売り・米ドル買いが進み、一時1米ドル150円台をつけるなど歴史的水準まで円安が進みました。その後期末にかけては、景気減速懸念などを背景に利上げペース減速化観測が広がったことや、米地方銀行の経営破綻が相次いだことなどを材料に円が買い戻される展開となりました。

## 前期における「今後の運用方針」

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行います。また、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

## ポートフォリオについて

### ○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行いました。また、実質組入外貨建資産について、一部の通貨を除き外貨売り／日本円買いの為替ヘッジを行いました。

### ○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

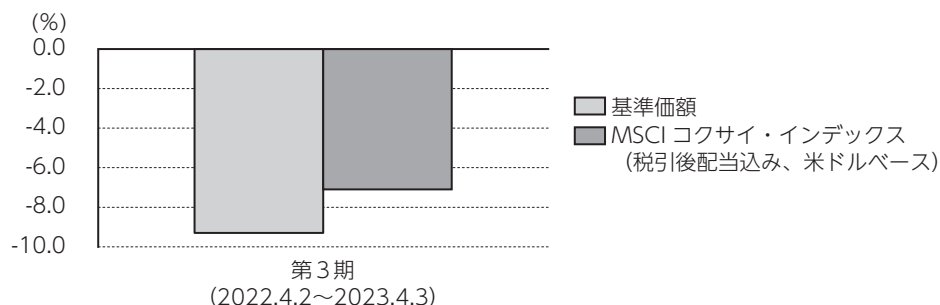
ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。

期初から期央にかけては、ロシア・ウクライナ戦争の停戦期待の後退や、インフレ圧力の高まりを受けたF R Bによる金融引締加速化観測などを背景に、株式市場の不確実性が高まったと判断し、一定程度高めのキャッシュ比率を維持することでポートフォリオのディフェンシブ性を高めました。期の後半からは、株式市場の下落を背景に、割安感が強まったと判断した収益の持続性が期待できる銘柄の新規組入や追加投資を実施し、キャッシュの保有比率を引き下げました。年明け以降、インフレのピークアウトが鮮明化したことから、景気減速懸念にも注視しつつ、底堅い売上高やコスト効率化による収益の維持・改善が見込まれる銘柄のウエイトを高めるなど「収益のクオリティ」に一層着目したポートフォリオ運営としました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

当期は、運用財産の成長を目指すファンドの基本方針に鑑みて、配当を行うのではなく再投資に振り向けることにより信託財産の一層の成長を目指すこととし、収益分配を見送らせて頂きました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2022年4月2日	~2023年4月3日
当期分配金（税込）（円）		0
対基準価額比率（％）		－
当期の収益（円）		－
当期の収益以外（円）		－
翌期繰越分配対象額（円）		600

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込）の期末基準価額（分配金込）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 《今後の運用方針》

### ○当ファンド

「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の受益証券への投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。また、実質組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

### ○アンカーMFGグローバル株式マザーファンド

インフレ沈静化や当局の積極的な金融引き締めスタンスの後退から、金利上昇を主因とする株価のバリュエーション調整は一巡したとみています。今後、金融引き締めによる実体経済への影響が具体化すると想定されることから、経済成長の減速が企業収益に与える影響を焦点に、株式市場では相場が展開するとみています。

そうしたなか、当ファンドでは、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、上記のような経済環境下でも底堅い収益や利益の獲得が期待出来る銘柄の発掘やファンドへの組み入れ、市場との連動性を常に0.8以下とするリスク抑制における独自の仕組みを通じて、下値の抑制に努めます。また、世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄への厳選投資を継続し、市場上昇への追従を図る方針です。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	第3期		項 目 の 概 要
	(2022.4.2~2023.4.3)		
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	80円	0.830%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 <b>期中の平均基準価額は9,688円です。</b>
(投信会社)	(76)	(0.790)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(0)	(0.001)	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託銀行)	(4)	(0.039)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 募集手数料	－	－	
(c) 売買委託手数料	3	0.030	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(3)	(0.030)	
(投資証券)	(0)	(0.000)	
(d) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(e) その他費用	13	0.131	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(11)	(0.112)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(－)	(－)	
合 計	96	0.991	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況

(2022年4月2日から2023年4月3日まで)

投資信託受益証券

項目	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	30,954	45,223	132,309	189,699

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2022年4月2日から2023年4月3日まで)

項 目	当 期	
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	38,537,030千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	31,639,806千円	
(c) 売買高比率 (a)÷(b)	1.21	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当ファンドにおける期中の利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(2023年4月3日現在)

項目	期首(前期末)		当 期 末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	426,164	324,808	480,229	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2023年4月3日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	480,229	100.0
コール・ローン等、その他	2	0.0
投資信託財産総額	480,231	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、4月3日における邦貨換算レートは、1米ドル=133.15円、1カナダドル=98.62円、1スイスフラン=145.17円、1英ポンド=163.85円、1香港ドル=16.96円、1ユーロ=143.88円です。

(注3) アンカーMFGグローバル株式マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(30,469,387千円)の投資信託財産総額(30,529,404千円)に対する比率は99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年4月3日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	925,949,826円
コール・ローン等	26
アンカーMFGグローバル株式マザーファンド(評価額)	480,229,998
未収入金	445,719,802
(B) 負債	462,648,154
未払金	461,158,774
未払信託報酬	939,380
その他未払費用	550,000
(C) 純資産総額(A-B)	463,301,672
元本	469,993,310
次期繰越損益金	△ 6,691,638
(D) 受益権総口数	469,993,310口
1万口当り基準価額(C/D)	9,858円

\* 期首における元本額528,962,342円、当期中における追加設定元本額2,967,663円、同解約額61,936,695円

\* 当期末の計算口数当りの純資産総額は0.9858円です。

\* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は6,691,638円です。

■損益の状況

当期(自2022年4月2日 至2023年4月3日)

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 42,417,578円
売買益	93,218,914
売買損	△ 135,636,492
(B) 信託報酬等	△ 4,659,926
(C) 当期損益金(A+B)	△ 47,077,504
(D) 前期繰越損益金	24,847,910
(E) 追加信託差損益金	15,537,956
(配当等相当額)	( 1,604,761)
(売買損益相当額)	( 13,933,195)
(F) 合計(C+D+E)	△ 6,691,638
次期繰越損益金(F)	△ 6,691,638
追加信託差損益金	15,537,956
(配当等相当額)	( 1,608,265)
(売買損益相当額)	( 13,929,691)
分配準備積立金	26,627,328
繰越損益金	△ 48,856,922

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 分配金の計算過程  
計算期間末に、費用控除後の配当等収益額1,779,418円(1万口当り37.86円)、収益調整金額1,608,265円(1万口当り34.22円)及び、分配準備積立金24,847,910円(1万口当り528.69円)から分配対象収益額は28,235,593円(1万口当り600円)となりますが、分配を行いませんでした。



<補足情報>

当ファンド（アンカーMFGグローバル株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用））が投資対象としている「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」の決算日（2022年7月1日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2023年4月3日）現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンドの組入資産の内容を掲載いたしました。

■組入資産明細表

下記は、2023年4月3日現在におけるアンカーMFGグローバル株式マザーファンド（20,563,101千口）の内容です。

(2023年4月3日現在)

(1) 外国株式

銘柄	前期末		当期末		業種等
	株数	株数	評価額 外貨建金額	評価額 邦貨換算金額	
<b>(アメリカ)</b>	百株	百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC	30	686	7,086	943,501	一般消費・サービス(小売)
APPLE INC	-	420	6,939	923,948	テクノロジー(ソフトウェア)
YUM! BRANDS INC	1,118	661	8,732	1,162,798	消費者サービス
INTUIT INC	-	211	9,450	1,258,361	ソフトウェア・サービス
LOWES COS INC	379	366	7,328	975,789	一般消費・サービス(小売)
MC DONALDS CORP	528	277	7,766	1,034,102	消費者サービス
MICROSOFT CORP	900	384	11,097	1,477,636	ソフトウェア・サービス
XCEL ENERGY INC	624	589	3,973	529,053	公益事業
PEPSICO INC	965	183	3,345	445,438	食品・飲料・タバコ
PROCTER AND GAMBLE CO/THE	762	-	-	-	家庭用品・パーソナル用品
US BANCORP	1,481	1,236	4,458	593,618	銀行
STARBUCKS CORP	1,190	-	-	-	消費者サービス
NETFLIX INC	263	-	-	-	メディア・娯楽
UNITEDHEALTH GRP INC	-	144	6,829	909,397	ヘルスケア(医療・サービス)
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	-	46	8,015	1,067,236	消費者サービス
MASTERCARD INC - A	450	244	8,876	1,181,877	金融サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	855	456	10,291	1,370,322	金融サービス
HCA HEALTHCARE INC	118	220	5,815	774,363	ヘルスケア(医療・サービス)
META PLATFORMS INC-CLASS A	379	-	-	-	メディア・娯楽
INTERCONTINENTAL	1,066	854	8,915	1,187,160	金融サービス
TRANE TECH	-	238	4,386	584,055	資本財
EVERSOURCE ENERGY	499	415	3,255	433,464	公益事業
ALPHABET INC-CL A	14	282	2,932	390,427	メディア・娯楽
ALPHABET INC-CL C	65	729	7,587	1,010,279	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC	488	434	4,119	548,458	公益事業
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	12,182 20銘柄	9,087 21銘柄	141,203 18,801,293	18,801,293 <61.8%>
<b>(フランス)</b>	百株	百株	千ユーロ	千円	
L OREAL	-	97	4,000	575,612	家庭用品・パーソナル用品
LVHM MOET HENNESSY LOUIS VUI	-	88	7,494	1,078,365	耐久消費財・アパレル
SAFRAN SA	411	221	3,017	434,221	資本財
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	411 1銘柄	407 3銘柄	14,513 2,088,199	- <6.9%>
<b>(ドイツ)</b>	百株	百株	千ユーロ	千円	
SAP SE	855	714	8,289	1,192,655	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	855 1銘柄	714 1銘柄	8,289 1,192,655	- <3.9%>

銘柄	前期末		当期末		業種等
	株数	株数	評価額 外貨建金額	評価額 邦貨換算金額	
<b>(オランダ)</b>	百株	百株	千ユーロ	千円	
ASML HLDG NV	-	142	8,937	1,285,979	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	- 1銘柄	142 1銘柄	8,937 1,285,979	- <4.2%>
<b>(スペイン)</b>	百株	百株	千ユーロ	千円	
AMADEUS IT GRP SA	807	-	-	-	消費者サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	807 1銘柄	- -	- -	- <-%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,074 3銘柄	1,264 5銘柄	31,740 4,566,833	- <15.0%>
<b>(イギリス)</b>	百株	百株	千英ポンド	千円	
DIAGEO PLC	2,251	1,789	6,467	1,059,671	食品・飲料・タバコ
LLOYDS BANKING GROUP PLC	50,134	-	-	-	銀行
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	1,574	977	6,018	986,064	家庭用品・パーソナル用品
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	53,960 3銘柄	2,766 2銘柄	12,485 2,045,735	- <6.7%>
<b>(スイス)</b>	百株	百株	千スイスフラン	千円	
NOVARTIS AG-REG	1,478	615	5,152	747,927	医薬/化学/医薬・バイオ医薬
NESTLE SA-REG	970	670	7,477	1,085,527	食品・飲料・タバコ
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,449 2銘柄	1,285 2銘柄	12,629 1,833,454	- <6.0%>
<b>(カナダ)</b>	百株	百株	千カナダドル	千円	
BROOKFIELD CORP	-	1,946	8,568	845,003	金融サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	- 1銘柄	1,946 1銘柄	8,568 845,003	- <2.8%>
<b>(香港)</b>	百株	百株	千香港ドル	千円	
AIA GRP LTD	-	4,073	33,671	571,066	保険
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	- 1銘柄	4,073 1銘柄	33,671 571,066	- <1.9%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	70,666 28銘柄	20,424 32銘柄	28,663,386 3,943,320	- <94.3%>

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(2) 投資証券

銘柄	前期末	当 期 末		業 種 等	
	□ 数	□ 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ) CROWN CASTEL INC	千口 64	千口 -	千米ドル -	千円 -	エレクトロニクス投資信託 (RET)
合 計	金 額 64 銘柄数<比率>	- 1銘柄	- -	- -<-%>	- -

- (注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
- (注2) < >は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。
- (注3) 単位未満は切捨て。
- (注4) 業種はG I C S分類（産業グループ）によるものです。なお、G I C Sに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	海外の金融商品取引所に上場している企業の株式等※ ※リート（不動産投資信託証券）やDR（預託証券）、その他の証券を含みます。
運用方法	1. 徹底したリサーチを通じて選別した持続的な優位性を持つ高クオリティ企業の株式等に中長期に投資することで、一つの経済サイクルを通して年率10%以上のリターン獲得を目指します。 2. ポートフォリオの市場感応度を一定程度以下に調節することで値下りリスクの抑制に努めます。 3. ポートフォリオの構築にあたっては、確信度の高い銘柄に対する集中投資を行います。投資銘柄数は、原則として20銘柄以上、40銘柄以下とします。 4. 投資対象とする株式等は、取得時において、原則として時価総額250億米ドル以上の銘柄とします。ただし、原則として原油や天然資源などの商品市況に影響される銘柄は除きます。 5. 外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。 6. 資金動向、市場動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。 7. マゼラン・アセット・マネジメント・リミテッドに外貨建資産の運用の指図に関する権限を委託します。
組入制限	1. 株式等への投資割合には制限を設けません。 2. 一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に係る株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則としてそれぞれ10%、合計で20%を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、同規則にしたがい当該比率以内となるよう調整を行います。 3. 新興国企業が発行する株式への投資割合は、原則として20%以内とします。 4. GICS（世界産業分類基準）のセクター分類による金融セクターに対する投資割合は、原則として30%以内とします。 5. ポートフォリオでの投資割合が5%を超える銘柄に対する合計の投資割合は、原則として40%以内とします。 6. キャッシュ保有比率は、原則として20%以内とします。 7. 投資信託証券（上場投資信託は除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。 8. デリバティブ取引は、原則として行いません。

# アンカーMFGグローバル 株式マザーファンド

## 運用報告書

第4期（決算日 2022年7月1日）

### 受益者のみなさまへ

毎々格別のお引き立てにあずかり厚くお礼を申し上げます。

さて、「アンカーMFGグローバル株式マザーファンド」は、去る2022年7月1日に第4期の決算を行いましたので期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



運用報告書に関するお問い合わせ先  
ノーザン・トラスト・グローバル・インベストメンツ株式会社  
業務部

〒106-0032 東京都港区六本木一丁目9-10  
アークヒルズ仙石山森タワー

電話番号：03-5575-5780

受付時間：営業日の午前9時～午後5時

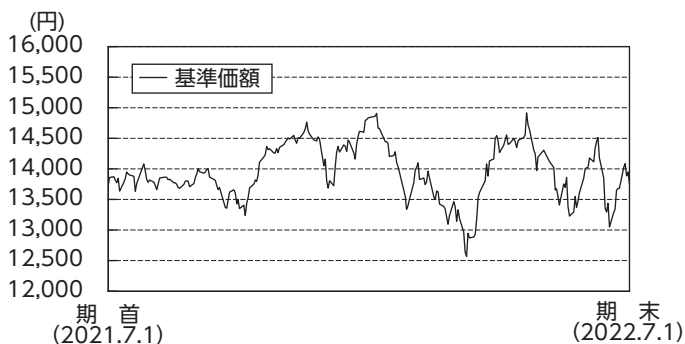
ホームページ：www.northerntrust.jp/

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	投資証券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率	10,000	期中騰落率			
(設定日) (2019年4月18日)	10,000	—	10,000	—	—	—	百万円 746
1期(2019年7月1日)	10,166	1.7	9,805	△1.9	88.7	3.1	5,709
2期(2020年7月1日)	10,959	7.8	10,069	2.7	77.1	3.8	13,833
3期(2021年7月1日)	13,728	25.3	14,507	44.1	90.4	3.5	46,328
4期(2022年7月1日)	13,757	0.2	15,286	5.4	88.2	2.7	36,841

(注) 参考指数としてMSCIコクサイ・インデックス(税引後配当込み、円ベース、2019年4月18日を10,000とする。)を使用しています。基準日前営業日の米ドル建て指数を基準日の対顧客電信売買相場仲値を用いて当社が独自に円換算しています。

■当期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	投資証券組入比率
	円	騰落率	14,507	騰落率		
(期首) 2021年7月1日	13,728	—	14,507	—	90.4	3.5
7月末	13,817	0.6	14,675	1.2	90.5	3.4
8月末	13,859	1.0	15,033	3.6	90.7	3.4
9月末	13,502	△1.6	14,681	1.2	90.6	3.2
10月末	14,351	4.5	15,753	8.6	91.7	3.2
11月末	14,160	3.1	15,680	8.1	91.1	3.4
12月末	14,835	8.1	16,324	12.5	88.3	3.6
2022年1月末	13,770	0.3	15,180	4.6	86.7	3.4
2月末	13,463	△1.9	15,086	4.0	87.4	3.2
3月末	14,458	5.3	16,677	15.0	87.7	3.5
4月末	14,191	3.4	15,949	9.9	87.1	3.8
5月末	14,004	2.0	15,916	9.7	87.9	2.9
6月末	13,950	1.6	15,538	7.1	88.0	2.7
(期末) 2022年7月1日	13,757	0.2	15,286	5.4	88.2	2.7

(注) 騰落率は期首比。

## 《運用経過》

### ◆基準価額等の推移について

#### 【基準価額・騰落率】

期首：13,728円 期末：13,757円 騰落率：+0.2%

#### 【基準価額の主な変動要因】

株式はマイナス寄与の一方、為替がプラス寄与したことから、基準価額はほぼ横ばいでした。株式では、主に生活必需品での組入銘柄（ペプシコなど）の株価が上昇した一方、一般消費財・サービスでの組入銘柄（アリババグループ・ホールディングなど）の株価が大きく下落しました。為替は、円が米ドル他の通貨に対して大幅に下落したことがプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

### ◆投資環境について

#### ○世界株式市況

当期の先進国株式市場は、期首と比べて下落しました。期初から年末にかけては、新型コロナウイルス変異種の感染拡大や当局による金融引き締めに対する警戒感などから下落する場面もあったものの、良好な米経済指標を受けた景気回復への期待感などを背景に、概ね上昇基調で推移しました。年明けからは、ロシアのウクライナ侵攻、インフレ加速化懸念や各国当局による積極的な金融引き締め策に対する警戒感などから、投資家のリスク回避姿勢が強まり、先進国株式市場は大幅に下落する展開となりました。

前述のような市場動向となるなか、生活必需品セクターでは、ペプシコは、インフレ圧力が高まる中で価格決定力を背景として、値上げ実施や売上高見通しを引き上げたことなどが好感され、株価が上昇しました。反対に、一般消費財・サービスセクターでは、アリババグループ・ホールディングは、中国の景気減速などから業績見通しを引き下げたことや、当局による規制強化を受けた出店企業への支援拡大が重しとなり減益となったことなどが嫌気され、株価が大きく下落しました。

#### ○為替相場

当期の米ドル円相場は、期首と比べて円安米ドル高となりました。期の序盤には強弱両様の材料が入り混じり方向感の定まらず、狭いレンジで推移しました。中盤からは、中国工大集団の債務不安の一巡、堅調な株式・商品市場動向や米金利の上昇などを材料に、米ドルが買われ、徐々に下値を切り上げました。その後期末にかけては、FRB（米連邦準備制度理事会）による利上げが確実視されると日米の金利差拡大を見込んだ円売り・米ドル買いが大きく進行し、1米ドル135円台まで米ドルは大幅続伸しました。

### ◆前期における「今後の運用方針」

引き続き、ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオ構築を行います。景気・市場見通しの不透明性は低下していると見て、保有するキャッシュ比率を従来より低位とする方針です。ただし、新型コロナ変異種の拡大、市場の過熱感から、資産保全への一定の配慮を継続します。中長期的な保有銘柄の持続可能な競争優位性に対する見方に変更はありません。保有銘柄の多くは、テクノロジー・プラットフォームの拡大、キャッシュレス社会への移行、新興国での消費拡大、生活に必要な不可欠なサービス・商品への底堅い需要、高齢化する人口動態などから恩恵を受けると考えられます。

### ◆ポートフォリオについて

ポートフォリオ全体でのリスク管理を徹底しつつ、持続可能な競争優位性（エコノミック・モート）を持ち、長期的な成長が見込まれる銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築しました。期初から期中盤にかけては、ワクチン普及に伴う経済再開、積極的な財政・金融政策の継続等により、市場の堅調さが続くというメインシナリオのもと、ポートフォリオのキャッシュ比率を低位に維持し、高い利益成長の持続が見込まれる銘柄への投資を積極的に行いました。その後、ロシアがウクライナへ侵攻したことやFRBによる利上げ懸念が高まったことなどから、株式市場の不確実性や変動性が高まると想定し、キャッシュ比率を高めることでベータ（市場への運動性）を引き下げ、ポートフォリオのディフェンシブ性を高めました。

### ◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。参考指数は先進国株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

基準価額と参考指数の騰落率は、それぞれ+0.2%、+5.4%となりました。

## 《今後の運用方針》

中央銀行による金融引締め策が奏功してインフレは緩やかにピークアウトし、経済はソフトランディングに成功するという見方をメインシナリオとしています。一方、さらなるインフレ高進を背景とする中央銀行による金融引き締めの積極化や、エネルギー供給の混乱などによる経済成長やインフレ見通しの悪化、及び、中央銀行が金融政策の機動的な調整に失敗するリスクなどを想定しています。こうしたリスク要因による不確実性が株式市場のバリュエーションの重石となると考えられるため、今後2年程度の株式市場の期待リターンに対しては慎重な見通しを持っています。

そのため、引き続き一定程度キャッシュ比率を高めたポートフォリオ運用を行う方針です。その一方で株式部分の構築に関しては、世界のメガトレンド（中長期的な構造変化）に着目し、その恩恵を受けて高い利益成長の持続が見込まれる銘柄への厳選投資を継続し、市場上昇への追隨を図る方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項目	当期
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資証券)	7円 ( 7) ( 0)
(b) 有価証券取引税	—
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	2 ( 2) ( 0)
合計	9

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数

(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数

(注2) 各項目毎に円未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況

(2021年7月2日から2022年7月1日まで)

(1) 株式

	買		付		売		付		
	株	数	金	額	株	数	金	額	
アメリカ	百株	3,628	千米ドル	68,309	百株	9,574	千米ドル	144,014	
	(551)		(—)		(—)		(—)		
スイス	百株	18	千スイスフラン	206	百株	670	千スイスフラン	6,584	
イギリス	百株	54,098	千英ポンド	11,447	百株	5,344	千英ポンド	3,175	
香港	百株	1,500	千香港ドル	29,342	百株	3,976	千香港ドル	127,640	
ユーロ	百株	929	千ユーロ	5,558	百株	140	千ユーロ	824	
	ドイツ	百株	13	千ユーロ	162	百株	492	千ユーロ	5,478
	フランス	百株	653	千ユーロ	14,581	百株	228	千ユーロ	11,235
	オランダ	百株	172	千ユーロ	8,876	百株	1	千ユーロ	53
	ユーロ 通貨計	百株	1,769	千ユーロ	29,179	百株	863	千ユーロ	17,592

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ( )内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

	買		付		売		付	
	□	数	金	額	□	数	金	額
アメリカ	千□	1,026	千米ドル	203	千□	32,187	千米ドル	5,699

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年7月2日から2022年7月1日まで)

項 目	当 期	
	アンカーMFGグローバル株式マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	37,279,755千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	38,455,854千円	
(c) 売買高比率 (a)÷(b)	0.96	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■主要な売買銘柄

(2021年7月2日から2022年7月1日まで)

## (1) 株式

当 期				期 付					
買		付		売		付			
銘	柄	株 数	金 額	平均単価	銘	柄	株 数	金 額	平均単価
		千株	千円	円			千株	千円	円
DIAGEO PLC		240	1,402,937	5,829	STARBUCKS CORP		200	2,187,112	10,908
AMAZON.COM INC		3	1,327,644	368,074	PEPSICO INC		87	1,854,662	21,274
ASML HLDG NV		17	1,237,562	71,896	TENCENT HLDG LTD		251	1,616,933	6,436
US BANCORP		182	1,228,188	6,721	MICROSOFT CORP		42	1,481,334	35,082
LOWES COS INC		46	1,224,664	26,063	META PLATFORMS INC-CLASS A		41	1,440,213	34,603
HCA HEALTHCARE INC		35	1,117,126	31,676	ALPHABET INC-CL C		4	1,425,236	314,274
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC		5	881,331	174,798	NETFLIX INC		38	1,388,907	36,176
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI		10	855,720	81,295	LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI		14	1,332,344	93,210
AMADEUS IT GRP SA		92	732,595	7,883	ALIBABA GRP HLDG-SP ADR		98	1,258,476	12,732
SAFRAN SA		46	695,512	15,019	XCEL ENERGY INC		111	894,861	8,007

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

## (2) 投資証券

当 期				期 付					
買		付		売		付			
銘	柄	口 数	金 額	平均単価	銘	柄	口 数	金 額	平均単価
		千口	千円	円			千口	千円	円
CROWN CASTLE INTL CORP		1	22,326	21,761	CROWN CASTLE INTL CORP		32	707,792	21,990

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産の明細

(2022年7月1日現在)

(1) 外国株式

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMAZON.COM INC	-	568	6,035	820,780	小売り
YUM! BRANDS INC	1,463	1,037	11,776	1,601,539	消費者サービス
LOWES COS INC	-	429	7,499	1,019,922	小売り
MCDONALDS CORP	501	490	12,108	1,646,631	消費者サービス
MICROSOFT CORP	1,198	819	21,036	2,860,814	ソフトウェア・サービス
XCEL ENERGY INC	1,662	578	4,093	556,670	公益事業
PEPSICO INC	1,125	271	4,520	614,740	食品・飲料・タバコ
PROCTER AND GAMBLE CO/THE US BANCORP	888	526	7,576	1,030,319	家庭用品・パーソナル用品
STARBUCKS CORP	-	1,674	7,704	1,047,695	銀行
NETFLIX INC	1,980	-	-	-	消費者サービス
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	380	-	-	-	メディア・娯楽
MASTERCARD INC - A	-	50	6,555	891,538	消費者サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	390	438	13,842	1,882,373	各種金融
HCA HEALTHCARE INC	814	830	16,352	2,223,776	各種金融
META PLATFORMS INC-CLASS A	-	333	5,596	761,099	ヘルスケア機器・サービス
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	761	351	5,670	771,155	メディア・娯楽
ALIBABA GRP HLDG-SP ADR	1,401	1,114	10,484	1,425,777	各種金融
EVERSOURCE ENERGY	876	-	-	-	小売り
ALPHABET INC-CL A	1,203	463	3,916	532,667	公益事業
ALPHABET INC-CL C	16	17	3,850	523,663	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC	96	51	11,361	1,545,066	メディア・娯楽
WEC ENERGY GRP INC	1,130	448	4,517	614,324	公益事業
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	15,892 17銘柄	10,496 19銘柄	164,501 22,370,557	<60.7%>
(フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円	
L OREAL	-	83	2,747	391,140	家庭用品・パーソナル用品
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	96	59	3,432	488,618	耐久消費財・アパレル
SAFRAN SA	-	379	3,579	509,601	資本財
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	96 1銘柄	522 3銘柄	9,758 1,389,359	<3.8%>
(オランダ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
ASML HLDG NV	-	170	7,793	1,109,519	半導体・半導体製造装置
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	- 1銘柄	170 1銘柄	7,793 1,109,519	<3.0%>
(ドイツ)	百株	百株	千ユーロ	千円	
SAP SE	1,272	793	6,894	981,570	ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,272 1銘柄	793 1銘柄	6,894 981,570	<2.7%>
(スペイン)	百株	百株	千ユーロ	千円	
AMADEUS IT GRP SA	-	788	4,191	596,752	消費者サービス
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	- 1銘柄	788 1銘柄	4,191 596,752	<1.6%>
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,368 2銘柄	2,274 6銘柄	28,638 4,077,202	<11.1%>

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円	
DIAGEO PLC	-	2,247	7,934	1,312,257	食品・飲料・タバコ
LLOYDS BANKING GROUP PLC	-	46,870	1,983	327,965	銀行
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	1,827	1,462	9,022	1,492,153	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,827 1銘柄	50,580 3銘柄	18,940 3,132,376	<8.5%>
(スイス)	百株	百株	千スイスフラン	千円	
NOVARTIS AG-REG	1,730	1,370	11,076	1,576,667	医薬品/化学/バイオ/ヘルス
NESTLE SA-REG	1,134	842	9,385	1,335,992	食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,864 2銘柄	2,212 2銘柄	20,462 2,912,660	<7.9%>
(香港)	百株	百株	千香港ドル	千円	
TENCENT HLDG LTD	2,475	-	-	-	メディア・娯楽
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,475 1銘柄	- 0銘柄	- -	<->
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	24,427 23銘柄	65,564 30銘柄	32,492,796 -	<88.2%>

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(2) 投資証券

銘柄	前期末		当 期 末		業 種 等
	口 数	口 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千米ドル	千円	
CROWN CASTLE INTL CORP	74	43	7,353	1,000,069	不動産
合 計	金 額 銘柄数<比率>	74 1銘柄	43 1銘柄	7,353 1,000,069	<2.7%>

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) < >は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。



■投資信託財産の構成

(2022年7月1日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	32,492,796	87.6
投資証券	1,000,069	2.7
コール・ローン等、その他	3,606,786	9.7
投資信託財産総額	37,099,651	100.0

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、7月1日における邦貨換算レートは、1米ドル=135.99円、1スイスフラン=142.34円、1英ポンド=165.38円、1ユーロ=142.37円です。

(注3) 当期末における外貨建資産 (36,844,841千円) の投資信託財産総額 (37,099,651千円) に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年7月1日現在)

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>37,179,651,997円</b>
コール・ローン等	3,593,864,554
株式 (評価額)	32,492,796,553
投資証券 (評価額)	1,000,069,984
未収入金	80,000,000
未収配当金	12,920,906
<b>(B) 負債</b>	<b>338,305,011</b>
未払金	144,305,011
未払解約金	194,000,000
<b>(C) 純資産総額(A - B)</b>	<b>36,841,346,986</b>
元本	26,779,955,040
次期繰越損益金	10,061,391,946
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>26,779,955,040口</b>
1万口当り基準価額(C/D)	13,757円

\* 期首における元本額33,746,684,137円、当期中における追加設定元本額460,578,388円、同解約額7,427,307,485円

\* 当期末における当マザーファンドを対象とする投資信託元本額は、アンカーMFGグローバル株式ファンド (為替ヘッジなし) (適格機関投資家専用) 24,592,872,753円、アンカーMFGグローバル株式ファンド (為替ヘッジあり) (適格機関投資家専用) 385,265,904円、アンカーMFGグローバル株式ファンド (分配型) (適格機関投資家専用) 1,801,816,383円、アンカーMFGグローバル株式ファンド (非課税適格機関投資家専用) 6,862,068,154円

\* 当期末の計算口数当りの純資産総額は1.3757円です。

■損益の状況

当期 (自2021年7月2日 至2022年7月1日)

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>564,692,737円</b>
受取配当金	564,592,078
受取利息	100,659
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>△ 273,856,486</b>
売買益	9,374,623,869
売買損	△ 9,648,480,355
<b>(C) 信託報酬等</b>	<b>△ 7,370,781</b>
<b>(D) 当期損益金(A + B + C)</b>	<b>283,465,470</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>12,581,900,222</b>
<b>(F) 追加信託差損益金</b>	<b>174,215,045</b>
<b>(G) 解約差損益金</b>	<b>△ 2,978,188,791</b>
<b>(H) 合計(D + E + F + G)</b>	<b>10,061,391,946</b>
次期繰越損益金(H)	10,061,391,946

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。